

わかば

2019.1
新春号
Vol.55



日々の活動を「フェイスブック」と、「ブログ」にて発信しております。「公式ホームページひびきあい」で検索してください。

いいね!
をよろしく。



〒522-0041 滋賀県彦根市平田町309-15
Tel.0749-23-2340 FAX.0749-22-1700
URL: http://www.hibiki.ai.x0.com
E-mail: kazuko@hibiki.ai.x0.com

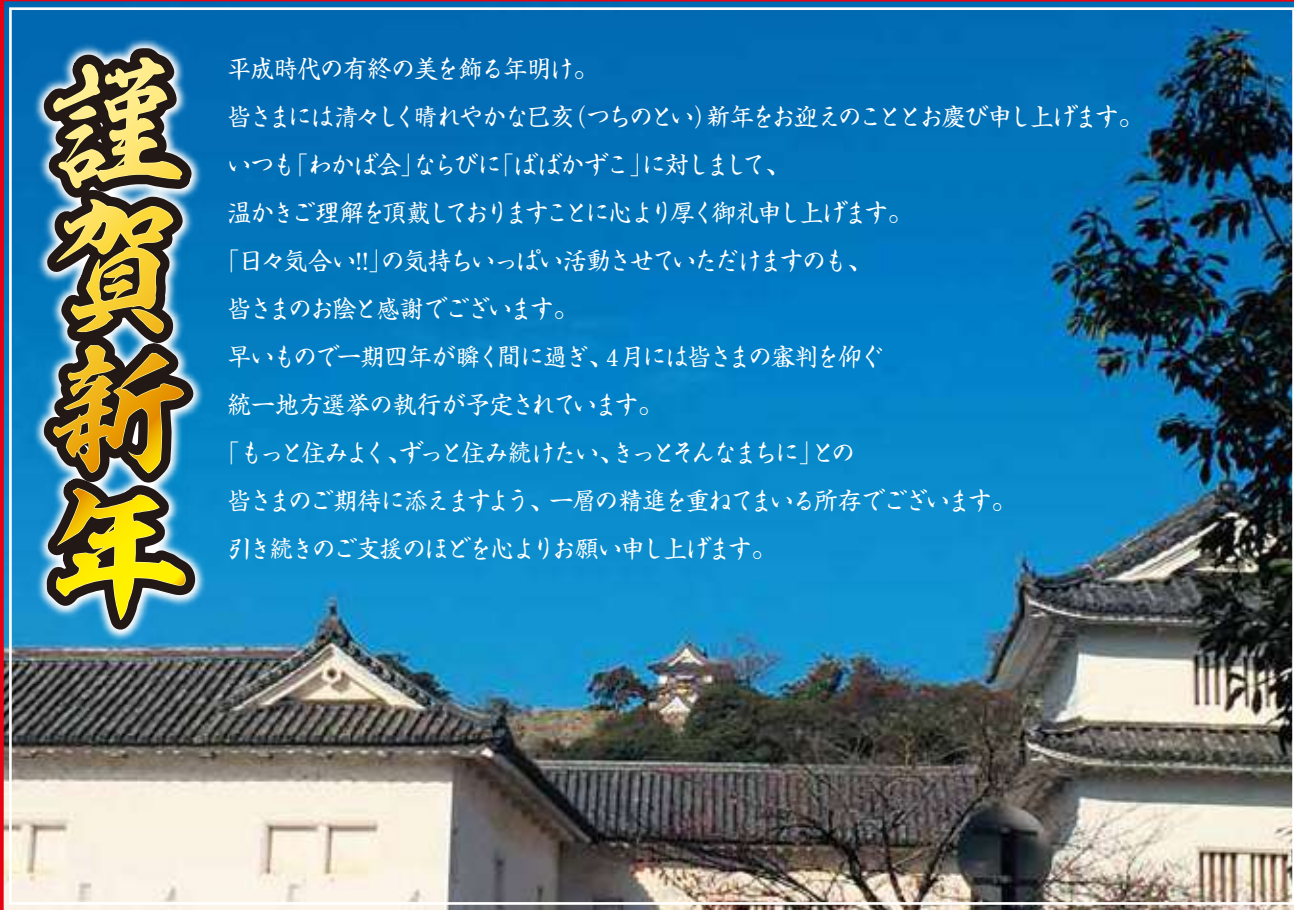
発行者
ひびきあい
彦根市議会議員 **ばばかずこ**

Facebook: **ばばかずこ**

ひびきあい | 検索

謹賀新年

平成時代の有終の美を飾る年明け。
皆さまには清々しく晴れやかな巳亥(つちのとい)新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
いつも「わかば会」ならびに「ばばかずこ」に對しまして、
温かきご理解を頂戴しておりますことに心より厚く御礼申し上げます。
「日々気合い!!」の気持ちいっぱい活動させていただけるのも、
皆さまのお陰と感謝でございます。
早いもので一期四年が瞬く間に過ぎ、4月には皆さまの審判を仰ぐ
統一地方選挙の執行が予定されています。
「もっと住みよく、ずっと住み続けたい、きっとそんなまちに」との
皆さまのご期待に添えますよう、一層の精進を重ねてまいります所存でございます。
引き続きのご支援のほどを心よりお願い申し上げます。



わかば会からのお知らせ

平成31年度の花金トークの開催予定

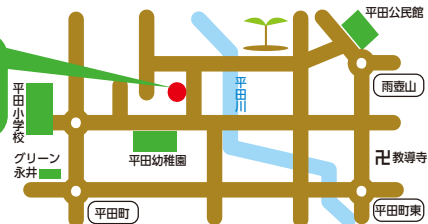
午後2時からの開催は……1月4日・2月1日
午後7時30分からの開催は…3月1日・4月5日・5月3日・6月7日・
7月5日・8月2日・9月6日・10月4日・11月1日・12月6日

毎月第一金曜日に開催している花金トーク。お茶でも飲みながら、
地域のことや彦根市のことを双方向で話し合う。

自宅のわかばサロンで開催しています。
どなたでもご自由にご参加できますので、
お気軽にお越しくださいね。

1月4日: 組紐初級の創作活動
2月1日: ぼかし染初級の創作活動を予定しています。

わかばサロン
ばばかずこ自宅
彦根市平田町 309-15
090-2100-3298



私事ながら、二人目の孫となる「千陽・ちはる」が、11月28日に誕生しました。

決算特別委員会では

10月4・5・6日に決算特別委員会にて集中的に審査を行いました。
その中から、皆さまに身近な内容の一部をお知らせいたします。
なお、今回の決算審査の結果が平成31年度の当初予算に反映されますよう、
引き続き意見具申や当局への申し入れ等を行ってまいります。



平成29年度決算審査の概要

一般会計歳入: 449億4053万円、特別会計との合計: 732億466万円
一般会計歳出: 442億4288万円、特別会計との合計: 717億9811万円
一般会計単年度収支: ▲2495万円、実質収支額: 12億1881万円
(決算特別委員会で平成29年度の決算認定審査状況の中から、市民生活に直結する項目を抜粋)

- ①人口増加を図るための一手法としての、移住促進事業の推進により、家賃補助・住宅取得補助を活用しての人口増加が図られた
- ②結婚を望む若者に対し出合いの場を創出する婚活支援事業を1市4町の広域事業に拡充をして推進された
- ③ふるさと彦根応援寄付事業では、2704人の方から7154万378円が寄せられ返礼品の4割が近江牛であった
- ④収納率の向上のための努力により収入未済額が減少したことや、滞納整理の積極的な取組が進められた
- ⑤彦根市のごみ処理に係る全体経費は12~13億円
現在の施設は、昭和56年に建設され平成11~12年にダイオキシン対策として大規模改修が行われて以降、17年を経過し老朽化が顕著になってきており今後は改修等の費用が想定される中、新たなごみ処理施設の建設が待たれる
- ⑥ごみ減量化の取組についても、平成21年度以降、県下ワースト1だった一人一日の排出量は、前年度の895グラムから今年度、880グラムへと減量が図られた
- ⑦可燃ごみの組成調査が実施され、その結果、37.8%が生ごみであり、その中の58%の調理くず以外のごみは減量の余地のあるものであることも判明しました。
- ⑧自主財源の確保対策の一つとして、物品売り払いに係る収入の中に占める資源ごみの分は3396万円にも上ることからも、今後もごみの減量と共に、財源確保のための地道な取組が必要
- ⑨住宅リフォーム補助は、668件の補助総額に対する経済波及効果は20.93倍の11億5600万円にも上り、事業の費用対効果としては非常に顕著
- ⑩観光行催事に関する補助金に対する経済効果については、費用投入に対する入込数の比較から、一定の成果はあったものの事業ごとの検証が必要※A
(実績として:彦根ばやし総踊り大会に6000人・小江戸彦根の城まつりに9万人
北びわこ大花火大会に13万人・彦根ゆかたまつりに1万人)
- ⑪彦根市で安心して産み育てるための施策として、妊婦健診や彦根市独自の産後ママほっと事業は、広報不足から想定より利用者が少なかった
- ⑫全国学力テストの結果から、学力向上対策は最重点課題であり国語力向上のためにも学校図書館の充実が課題※B
- ⑬保育士の確保対策は、女性活躍時代を側面から支援し、引き続き「子育てしやすいまち」が「人口増」に直結する※C
- ⑭彦根城をはじめとする市内にある「ほんまもの宝」である文化財等を守り・磨き・使い・発信するためにも、引き続き事業を進めると同時に、市民に、何より未来を担う子どもたちに「彦根ブランド」「彦根プライド」を醸成することに気持ちを傾注した取組が必要
- ⑮除雪対象となる積雪16~22cm、1月の降雪実績から2月補正で1億2000万円を積んだが2月には降雪が少なく不用額4753万円
- ⑯工場棟設置奨励金の対象は11社で3875万円、270人の雇用増
- ⑰災害時避難行動要支援者の対象10049人中、24.2%の2433人が登録
- ⑱彦根市立図書館の水曜日の開館時間の延長の費用対効果は45万円に対して1276人の増加となった
- ⑲彦根市休日急病診療所では、72日間に5147人が利用
- ⑳彦根市立病院の病床数は438床
年間の延べ入院数は121006人で病床稼働率は75.7%
一日当たりの入院数は331.5人で平均単価は57456円
外来患者の年間延べ人数は228815人
一日当たりの外来数は937.8人、平均単価は13522円



「大人110番」小さな声にもしっかりと耳を傾けて

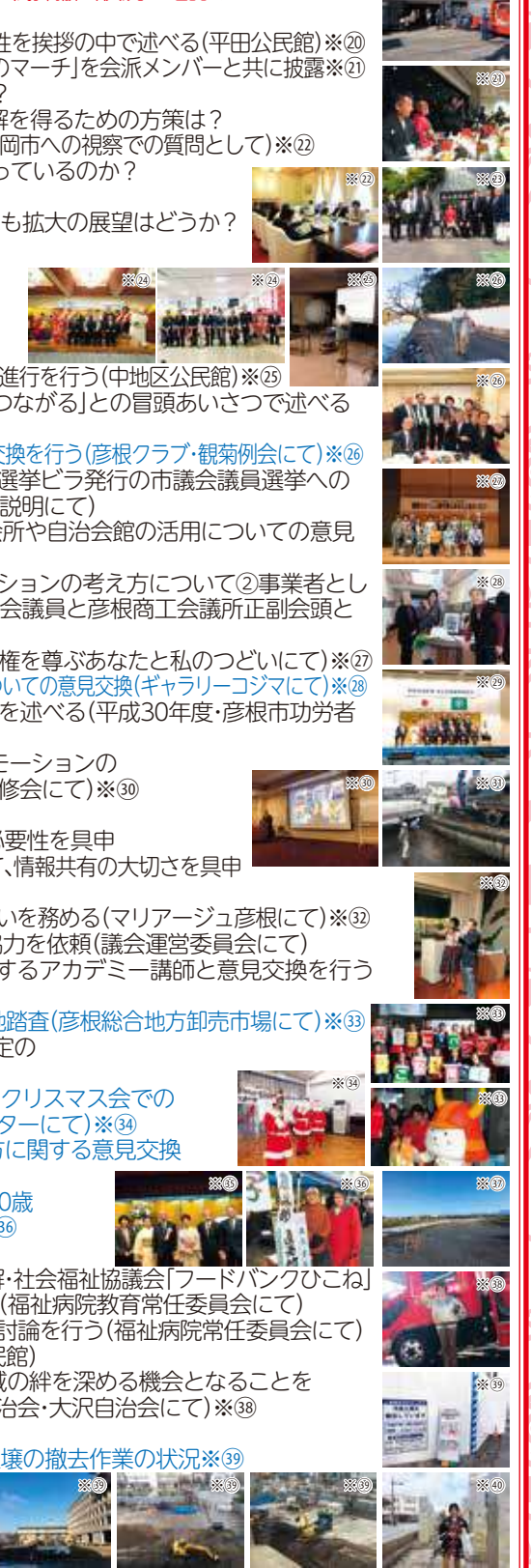
▲ 状況聴き取り ○ 現地踏査・調査 ◎ 要望・申し入れ ■ 委員会等での質問・提言 ★ 回答・対応の方向性 **蟻の目・鳥の目・魚の目で日々気合い**

- ◎10月 1日:平田町西交差点歩道の不具合の報告と早期の改修の申し入れ(交通対策室)
- ★10月 1日:千鳥自治会内の公園の除草について、刈り取り後の草の始末も行う旨の回答を得る(建築住宅課)
- ▲10月 1日:ひこにゃんナンバープレート交付への応募状況の確認(彦根西口仮庁舎)※①
- ▲10月 4日:賞味期限間近の備蓄食材の活用について、払い下げの可能性と申請手続きの方法を確認(危機管理室)
- 10月 5日:平成29年度の決算認定に係る討論の草案を作成し会派「公政会」の政調会長に賛成の立場からの討論を行ってもらう(決算特別委員会にて)
- ▲10月 5日:台風20・21・24号の被害状況についての情報交換・町内会からの要望事項の詳細聴き取りを行う(花金トークにて)
- ▲10月 6日:平田明照寺周辺の被害状況の現地踏査を行う
- ▲10月 6日:ピンクリボン啓発活動「清水健トークライブショー」に参加(ビバシティ彦根)※②
- ▲10月 8日:彦根市民運動会平田学区大会に運営スタッフとして出務(平田小学校運動場)※③
- 10月 8日:平田学区青少年育成協議会設立40周年記念として「オリジナル飛び出し人形」の披露の口上を述べる(平田学区市民運動会にて)※④
- ▲10月 9日:千鳥自治会内の新設ごみ集積所(予定場所)の現況踏査※⑤
- ▲10月10日:彦根城のライトアップ時間の延長・商店街の店先に簡易なベンチなどの設置の必要性について(近江タクシー運転手から)
- ▲10月10日:彦根商工会議所創立80周年記念事業に来賓出席(琵琶湖船ピアンカ)※⑥
- ▲10月11日:平田ふれあい館改修状況とオープンイベントの状況踏査(平田集会所)※⑦
- 10月12日:ICT先進モデル校である鳥居本学園の取組の説明を受けての質問では
 - ①電子黒板等の利用により教職員の負担は軽減されたのか
 - ②教職員対象の活用等は定期的実施しているのか
 - ③インシヤルコスト・ランニングコストは
 - ④市内全域に拡大する考えはあるのか(福祉病院教育常任委員会協議会にて)
- ◎10月12日:彦根市社会教育委員の会の取組について、ラジオを媒体とした啓発活動の詳細の打ち合わせと協力依頼(FMひこね)
- 10月16日:災害時の備蓄物資の数量の積算根拠について、県と市の役割分担についての質問を行う(滋賀県防災センターにて)※⑧
- ▲10月17日:高齢者に係る地域の懸案についての相談窓口の確認を行う(彦根市福祉センター・介護福祉課)
- ▲10月17日:高齢者に係る諸問題の窓口は、地域包括支援センターであることを相談者に伝える
- ▲10月19日:びわ湖環境ビジネスフェス2018会場にて、体験ブースを回って意見交換を行う(長浜ドーム)※⑨
- ▲10月20日:ご当地博2018in彦根会場内のキレイキャンペーン活動と集客状況の踏査※⑩
- 10月21日:中地区文化祭を牽引いただいた各位への御礼と、今後は若い世代へと引き継ぐための後継者育成の必要性を述べる(文化祭反省会にて)※⑪
- ★10月22日:千鳥自治会内に新たなごみ集積かご設置の現況
- 10月22日:彦根市議会への視察対応として歓迎の挨拶を述べる(広島県三次市)
- 10月23日:彦根市議会への視察対応として歓迎の挨拶を述べる(兵庫県篠山市)
- 10月24日:彦根市議会・視察対応として歓迎の挨拶を述べる(神奈川県三浦市)
- ★10月27日:郷土の偉人である井伊直弼公の顕彰歌である「大江戸吹雪」、城西小学校の児童と共に演舞披露(近畿ブロックユネスコ活動研究大会のオープニングにて)※⑫
- ▲10月28日:直弼公顕彰式に出席、彦根の観光行政についての意見交換を行う(金亀児童公園内の直弼公銅像前にて)※⑬
- 10月29日:「タブレットを活用した学校教育」については※⑭
 - ①総予算額に占める教育費の割合の経年推移は?
 - ②タブレットを活用した教育での、教職員の運用に対する共有認識は?
 - ③導入後の学力向上の実績は?(東京都荒川区:先進地視察での質問項目)
- 10月30日:「公立病院の経営課改革」について
 - ①まず、取り組める内容としての契約の見直しは?
 - ②公立病院の果たすべき役割に関する現場や市民の反応は?
 - ③歳出削減の目玉としての人件費改定に踏み込んだ結果、職員のやる気への影響は?
 - ④議会に設置された病院特別委員会の功罪は?
 - ⑤医師確保の具体的な方策は?
 - ⑥地域包括ケア病棟運営への助言は?(神奈川県三浦市:先進地視察での質問項目)
- 10月31日:「アクティブシニア応援ポイント事業」については
 - ①シニア応援に対する庁内横断的な取組の内容は?
 - ②受け入れ視察拡大の理由と経緯、状況と課題は?
 - ③ポイントに上限を設定している理由は?
 - ④事業拡大のための啓発手法や、先進地としての助言は?(神奈川県小田原市:先進地視察での質問項目)
- ▲10月31日:アンパンマン装束に仮装し、ペルロード・ハロウィンの賑わい踏査※⑮
- ▲11月 1日:平田小学校創立40周年記念式典に来賓出席※⑯
 - 夕刻は、学級運営の状況、事案発生背景について緊急に開かれた学級懇談会に陪席
- 11月 2日:彦根市議会・視察対応として歓迎の挨拶を述べる(和歌山県海南市)
- ▲11月 2日:平成29年度の決算状況、コンパクト・シティ構想、本庁舎工事の現状と今後の予定等についての報告と意見交換(第158回・花金トークにて)
- 11月 3日:姉妹城・友好親善都市(水戸市・高松市・佐野市)の議員との懇談会にて、乾杯の発声を行う※⑰
- 11月 5日:彦根市議会・視察対応として歓迎の挨拶を述べる(岩手県花巻市)
- 11月 6日:彦根市議会・視察対応として歓迎の挨拶を述べる(埼玉県久喜市)



- ▲11月 6日:旧港湾一帯の水草刈り取り作業状況の現地踏査※⑱
- 11月 7日:彦根市の農業施策に関して、担い手づくり・情勢農業者の活躍・琵琶湖の水位上昇への対策等についての意見交換(彦根市農業委員会からの意見書受領時に)
- ▲11月10日:経済動向に関し、異業種間での意見交換(大阪経済大学・京都支部総会にて)※⑲
- ★11月11日:かねてより強く要望していた旧平田公民館裏手の崖の高木の伐採撤去状況を確認ならびに倒木被害のあった鳥居・灯籠の修復状況の確認
- 11月11日:平田町内会防災訓練にて、訓練の大切さと絆を繋ぐことの必要性を挨拶の中で述べる(平田公民館)※⑳
- 11月11日:同僚議員の結婚祝賀会にて、お祝いの言葉と人生応援歌「365歩のマーチ」を会派メンバーと共に披露※㉑
- 11月12日:①ホストタウンとして、パラリンピックを対象とした理由は?
 - ②ホストタウン事業の推進に対する実施段階での市民理解を得るための方策は?
 - ③外国人対応としての言語表示の将来的な方向性は?(静岡県静岡市への視察での質問として)※㉒
- 11月13日:①住民参画の元となる「自治基本条例」は最上位の条例となっているのか?
 - ②市民との対話の場での職員の立ち位置は?
 - ③第一に着手した防災対策に続いて、福祉分野や教育分野へも拡大の展望はどうか?(静岡県牧之原市への視察の中で)※㉓
- 11月14・15日:水戸市との友好親善都市提携50周年式典ならびに観光都市物産展オープニングのテープカットを行う※㉔
- 11月16日:高齢者を対象とした施策に関する議会報告会の開催を具申(福祉病院教育常任委員会協議会にて)
- 11月17日:金城・平田の元気っ子「グジックアースを体験してみよう」の運営・進行を行う(中地区公民館)※㉕
- 11月17日:「人権を通したまちづくりは、人づくりであり、地域づくりにつながる」との冒頭あいさつで述べる(平田町中区人権のまちづくり懇談会にて)
- ▲11月18日:「彦根・哲学の道」構想や、彦根市の防災体制の拡充についての意見交換を行う(彦根クラブ・観劇例会にて)※㉖
- 11月20日:①大数磯線の増額補正、②立花船町線の減額補正の根拠、③選挙ビラ発行の市議会議員選挙への波及について等の説明を求める(議案上程前の正副議長への説明にて)
- 11月20日:①生涯教育の拠点としての公民館の在り方について、②集会所や自治会館の活用についての意見具申(彦根市社会教育委員の会議にて)
- 11月21日:①彦根市としての地域資源の掘り起こしやシティ・プロモーションの考え方について②事業者として世界遺産登録に対する意義についての考え方は(彦根市議会議員と彦根商工会議所正副会頭との意見交換会にて)
- 11月23日:人権のついでにて、総合司会を務める(彦根市差別をなくし人権を尊ぶあなたと私のついでにて)※㉗
- ▲11月25日:「彦根名物及びす講」開催中の銀座商店街の賑わい創出に関する手法についての意見交換(ギャラリーゴジマにて)※㉘
- 11月25日:「長年のご功績に感謝と、本日のお賞への祝賀のメッセージ」を述べる(平成30年度彦根市功労者並びに文化功績者等表彰式にて)※㉙
- 11月28日:講師への謝辞と、講演内容を糧にした彦根市のシティ・プロモーションの取組への協力をお願いの言葉を述べる(彦根市議会・議員研修会にて)※㉚
- ★11月28日:平田川の堆積土砂撤去作業実施の現地踏査と現況※㉛
- ◎11月29日:石寺町地先の栗見橋工事の説明に際して、地元への説明の必要性を具申
- 12月 3日:石寺町地先の栗見橋石寺町地先の栗見橋の大規模改修に関して、情報共有の大切さを具申(東近江市議会正副議長との懇談にて)
- 12月 3日:彦根保護区保護司会の統一研修後の懇親会にて進行のお手伝いを務める(マリアージュ彦根にて)※㉜
- 12月 6日:会派内の質問項目調整の現状を報告し、今後も引き続きの協力を依頼(議会運営委員会にて)
- 12月 8日:彦根城の世界遺産登録について、手法的なテクニックに関するアカデミー講師と意見交換を行う(文化セミナーにて)
- ▲12月10日:「日曜日」の賑わい踏査と「フードバンク彦根」の運営状況の現地踏査(彦根総合地方卸売市場にて)※㉝
- ◎12月12日:幼稚園・保育園の通園の利便性や小1ギャップ対策として一定の地域枠の必要性についての意見具申(幼児課長に)
- ▲12月15日:彦根市の障害をお持ちの方への対策についての聴き取りと、クリスマス会での三人サングラースでの盛り上げ(彦根市障がい福祉センターにて)※㉞
- ▲12月15日:彦根市商工会議所女性会の研修として、市政報告会の在り方に関する意見交換(彦根市功労者をお祝いする会にて)※㉟
- ▲12月16日:第68回「ひこねで朝市」の会場にて、国松元滋賀県知事との100歳大学構想についての意見交換を行う(滋賀県護国神社境内)※㊱
- ▲12月16日:大数磯線の工事進捗の現地踏査※㊲
- 12月17日:世界遺産登録の方向性・市にアクティブポイント導入への見解・社会福祉協議会「フードバンクひこね」の活動への評価・年末年始のごみ搬入についての質問を行う(福祉病院教育常任委員会にて)
- 12月17日:新市民体育センター建設見直しを求める請願に対し、反対の討論を行う(福祉病院常任委員会にて)
- 12月27日:平田学区年末特別警戒出発式にて激励挨拶を行う(平田公民館)
- 12月28・29日:年末特別警戒に当たり、日頃の御礼と警戒中の安全、地域の絆を深める機会となることを挨拶の中で述べる(長曾根南町自治会・和町町内会・西平田自治会・大沢自治会にて)※㊳
- ▲継続的に進捗を確認中の彦根市役所本庁舎の耐震化整備に伴う汚染土壌の撤去作業の状況※㊴

○毎週水曜日の午前8時15分からの平田小学校での読書ボランティアに協力
○毎月第二・第四日曜日:彦根駅ならびに旧港湾一帯の清掃活動に参加※㊵



「あんなこと、こんなこと、どんなこと」心とこころを響き合わせましょう!!

大人110番・あなたのとなりに、ばばかず!!